

# 福祉生活病院常任委員会資料

(平成21年10月8日)

## [件名]

- 1 鳥取県ケーブルテレビ協議会との災害時応援協定の締結について  
(防災チーム) . . . . . 1
- 2 島根原子力発電所3号機の耐震安全性の評価に係る中間報告について  
(防災チーム) . . . . . 2
- 3 ヘリコプターを活用した救命救急体制の充実について  
(防災チーム、医療政策課、政策企画総室)  
. . . . . 3
- 4 「とっとり防災フェスタ2009」の実施について  
(危機管理チーム) . . . . . 4

防 災 局

# 鳥取県ケーブルテレビ協議会との災害時応援協定の締結について

平成21年10月8日  
防 災 チ ー ム

鳥取県と鳥取県ケーブルテレビ協議会（以下「CATV協議会」という。）は、下記のとおり「危機情報の提供及び放送要請に関する協定」を締結します。

## 記

### 1 協定の概要

#### (1) 協定の名称

「危機情報の提供及び放送要請に関する協定」

#### (2) 協定の目的

自然災害等の県民の生命、身体及び財産に重大な被害をもたらす事象（危機事象）が発生した場合（あるいは発生するおそれのある場合）に、当該事象又はその対策に関し必要な情報（危機情報）を県からCATV協議会へ提供し、また必要に応じて放送要請を行うことにより、県民、市町村等に対し速やかな周知、広報を行うことを目的とする。

#### (3) 協定の主な内容

鳥取県からCATV協議会への危機情報の提供

- (ア) 危機事象に関し県から報道機関に提供した情報
- (イ) 県所有の道路及び河川の監視カメラの映像情報
- (ウ) 県所有の消防防災ヘリコプターにより収集した映像情報（音声を除く）
- (エ) 県所有の災害対策本部室テレビ会議システムにより収集した映像情報
- (オ) その他県が必要と認めた情報

鳥取県からCATV協議会への放送要請

- (ア) 災害に係る気象予警報等
- (イ) その他危機事象から県民の生命、身体及び財産を守るための通知又は要請

### 2 協定締結式の概要

- (1) 日 時 平成21年10月8日（木）午後3時15分から3時45分まで
- (2) 場 所 県庁第4応接室（本庁舎3階）
- (3) 出席者 鳥取県ケーブルテレビ協議会会長 秦野一憲（中海テレビ放送代表取締役社長）ほか  
鳥取県知事 平井伸治ほか

### 3 参考

鳥取県ケーブルテレビ協議会の構成員

	事業社名
1	株式会社中海テレビ放送
2	鳥取中央有線放送株式会社
3	株式会社鳥取テレトピア
4	日本海ケーブルネットワーク株式会社
5	伯耆町有線テレビジョン放送

# 島根原子力発電所3号機の耐震安全性の評価に係る中間報告について

平成21年10月8日  
防災局防災チーム

島根原子力発電所3号機は、平成17年4月に原子炉設置変更許可を受け、同年12月に着工し、平成23年12月の営業運転開始に向けて工事が進められている。中国電力(株)は、平成18年9月に改訂された「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」(以下「新耐震指針」という。)に基づき、島根原子力発電所3号機の耐震安全性の評価を実施し、9月25日に中間報告書を経済産業省原子力安全・保安院へ提出した。

## 記

### 1 中間報告書の内容

#### (1) 評価結果

新耐震指針に照らして、耐震設計上評価すべき活断層(宍道断層)から想定される地震動等を基に策定した基準地震動に対し、原子炉を「止める」「冷やす」放射性物質を「閉じ込める」に係る主要施設について、安全機能が保持されることを確認した。

#### (2) 基準地震動

島根原子力発電所1・2号機の耐震安全性の評価に用いた基準地震動(最大加速度600ガル(阪神大震災クラスの地震に相当))及び新潟県中越沖地震の知見を反映した基準地震動(最大加速度433ガル)を評価に用いた。

#### (3) 評価対象

島根原子力発電所3号機の安全上重要な機能を有する施設のうち、原子炉を「止める」「冷やす」放射性物質を「閉じ込める」に係る主要な8施設を評価対象とした。

### 2 今後の予定

- ・今回の中間報告については、今後、国において妥当性に関する確認が行われる。
- ・今回評価を行った施設以外の島根原子力発電所3号機の安全上重要な機能を有する施設に係る耐震安全性評価結果の最終報告書は、平成22年度下期に経済産業省原子力安全・保安院へ提出される予定(1・2号機については、平成21年度下期に提出される予定)

### ※新耐震指針に基づく評価について

新耐震指針は、新設の原子力発電所を対象としているが、建設中の原子力発電所についても評価を実施するよう原子力安全・保安院が指示したことにより、中国電力が評価を行ったもの。

	改訂前	改訂後
震源を特定しない地震動	一律に深さ10km、M6.5相当の直下型地震を想定	過去のその地域の地震記録を基に、個別具体的に揺れを想定
考慮する断層	5万年前以降に活動した断層	8～13万年前以降に活動した断層

## ヘリコプターを活用した救命救急体制の充実について

平成21年10月8日  
政策企画総室  
医療政策課  
防災チーム

- 兵庫県・京都府・鳥取県の3府県共同によるドクターヘリの導入について、関西広域連合の事業として検討し、協議を進めている。
- 3府県共同のドクターヘリは、豊岡病院を基地病院として鳥取県全域を対象に運航することとしている。
- 3府県共同のドクターヘリが西部圏域に到達するには、時間が多くかかる面があり、医療機器を装備した消防防災ヘリに医療チームが搭乗するドクターヘリ的活用を併せた体制も検討する。

⇒ 従来に増して救命救急体制に重層的なセーフティネットが張られるものと期待。

### 1 3府県共同のドクターヘリの運航について

- (1) 運航計画 平成22年4月
- (2) 基地病院 公立豊岡病院組合立豊岡病院  
所在地：兵庫県豊岡市戸牧1094番地  

病床数	500床
常勤医師数	105人
救命救急センター、災害拠点病院	
- (3) 搬送する病院 ドクターヘリの基地病院、他府県の搬送可能な病院
- (4) 運航経費 鳥取県負担分：年額10～15百万円（交渉中）  
※ 鳥取県単独で導入する場合の県負担分85百万円

※ドクターヘリとは、

- ・ 医師が搭乗して傷病者のいる現場に行き、ヘリに装備した機器等を用いて、必要な治療を行いつつ、傷病者を医療機関へ搬送。
- ・ 搭乗医師は、ヘリを配備している医療機関に常駐
- ・ 機内には、救急に必要な機器を装備及び医薬品を搭載  

ストレッチャー、酸素ボンベ、人工呼吸器、 除細動器、吸引器、医薬品など
--

### 2 消防防災ヘリのドクターヘリ的活用について

- (1) 開始時期 平成22年度早期
- (2) 搭乗医師 鳥取大学医学部附属病院救急災害科（救命救急センター）医師
- (3) 医療機材等 必要な医療機材等を順次整備する。

### 3 今後のスケジュール

	(3府県共同ドクターヘリ)	(消防防災ヘリ)
平成21年10月	関係機関との調整会議 ランデブーポイント(離着陸場) の現地調査	鳥大及び消防機関との 連絡調整 医療機器等の整備の検討
22年 1月		
2～3月	消防機関との連携訓練	消防機関との調整
4月1日	運航開始(予定)	本格的なドクターヘリ的活用開始(平成22年度早期)

## 「とっとり防災フェスタ2009」の実施について

平成21年10月8日

危機管理チーム

県は、中部5市町、防災関係機関などと実行委員会をつくり、地域のシンボリックな町並みを残す倉吉市の白壁土蔵群周辺で、被災時の対応や防災訓練を展示、体験する要素を盛り込んだ「とっとり防災フェスタ2009」を実施します。

これは、これまで実施していた総合防災訓練を、多くの市民が参加しやすいように衣替えしたもので、昨年度の鳥取市での開催に続いて2回目です（昨年10月19日に鳥取市若桜街道で実施（歩行者天国）、約2万人の参加者）。

### 1 開催の目的

県民の防災・防犯意識の向上と防災関係機関のさらなる連携を目的とする。

### 2 概要

(1) 日時 10月25日（日）午前10時から午後3時まで（小雨決行）

(2) 場所 倉吉市 白壁土蔵群周辺（当日は歩行者天国）

※会場選定理由 重要伝統的建造物群保存地区であり防災上重要な地区。  
まちづくりや防災への取組みが活発な地区。

(3) 主な参加機関

ア 地元：中部地区5市町、倉吉町並み保存会、地元自治会、地元自主防災組織等

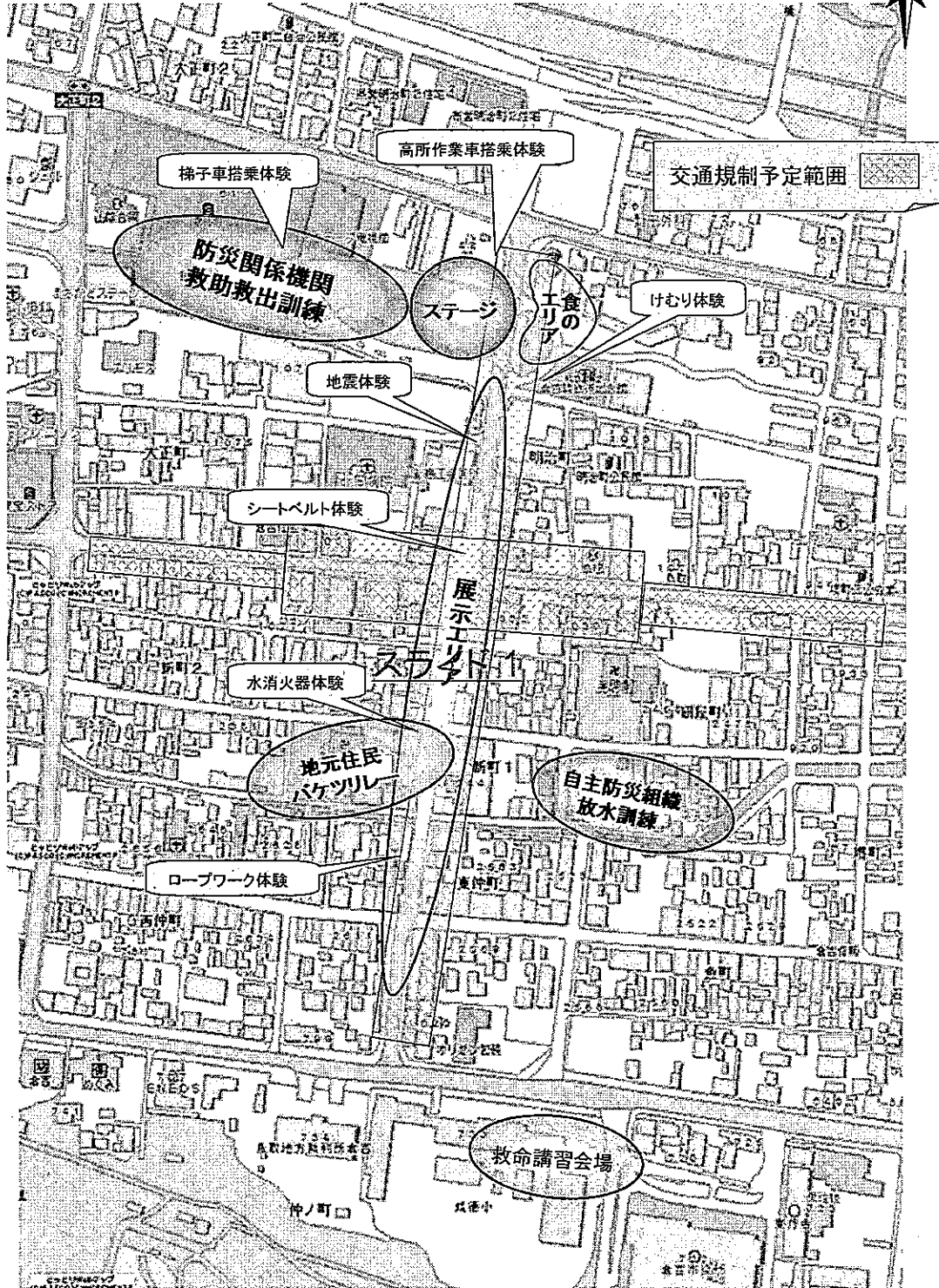
イ 防災関係機関：日本赤十字社、県内3消防局、境海上保安部、自衛隊等

ウ その他機関：中国電力(株)、NTT、鳥取大学、鳥取県技術士会等

(4) 主な内容

訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>救出訓練（ビル屋上からの救出、横転車両からの救出）</li> <li>炊き出し（赤十字奉仕団、自衛隊等による炊き出しとその試食）</li> <li>自主防災組織による初期消火訓練（バケツリレー、放水）</li> <li>自動体外式除細動器（AED）などの救急救命講習</li> </ul>	
普及啓発	体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災クイズ、起震車体験、煙ハウスによる火災疑似体験、水消火器による消火体験</li> <li>その他、着ぐるみ（トリピーなど）や子ども用の防災関係機関のユニホーム試着</li> </ul>
	展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加機関による防災に関する展示、成果発表</li> <li>消防車などの防災関係機関の車両及び機材展示</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元幼稚園児による鼓笛演奏のオープニングセレモニー</li> <li>模範となる活動を行っている自主防災組織の表彰</li> </ul>	

# 「とっとり防災フェスタ2009」会場イメージ図



午前10時～午後3時  
(歩行者天国)  
【交通規制午前8時～午後4時30分】